

## はじめに

大学4年生のとき、「英語授業概論」という授業で、大学の教授から何度もこう言われました。

「これからの英語教育はALL ENGLISHだ！」

「教室はコミュニケーションの場だ！ 教員がどんどん英語で授業をするんだ！」

その熱意に影響され（真面目だったんです）、私も心の中で誓いました。

「自分の教室は、英語だけの世界にする」と。

ところが、現実は甘くありませんでした。授業準備は山積み、テスト作成に追われ、部活動や生徒指導もある…。

目の前の仕事に追われるうちに、気づけば授業ではつい日本語を多用するようになっていました。

そんな自分が悔しくて、理想と現実のギャップに心が折れそうになりながら、「(私も生徒たちも) どうすればもっと英語を話す時間を増やせるんだろう」と、日々試行錯誤を続けました。

そんな中で、タブレットの整備が進み、ICTの活用が一気に進みました。教員にとって、まさに救世主の登場です。

デジタル教科書や便利なプラットフォームのおかげで授業準備が効率化され、生徒たちと英語でやりとりする時間がどんどん増えていきました。これが、私が夢見ていた「英語にあふれる授業」に近づく第一歩でした。

今までやりたかった授業を実現させるハードルも下がりました。かねてから、授業で英語を使う頻度を上げるためには、資料がたくさん必要でした。英語のみでは教師が言いたいことは伝わりにくいため、視覚的にも伝える必要があるからです。しかし、ICTが普及したこと

で、資料の提示が容易になり生徒たちの理解も進みやすくなりました。これはほんの一例で、本書に書いた実践を行っていくことで、生徒たちの英語力は確実に上がっていきました。

この本では、そんな私の経験をもとに、先生方が忙しい中でも無理なく取り組めるタブレット活用術を詰め込みました。

もちろん、生徒の「個別最適な学び」や「協働的な学び」を支える工夫も紹介しています。

これらの取り組みを実践することで、少しでも先生方の準備の負担が減り、「一方的に教える先生」ではなく、「一緒に英語を楽しむ先生」として教室に立てる時間が増えたらうれしいです。

本書を書く時間が持てたのは、家族の支えがあってこそです。忙しさをいつも受け止めてくれる妻と、笑顔と元気をくれる息子たち、そしてかわいらしい娘に心から感謝しています。息子たちの無邪気な笑い声や、文字を書き始めたばかりの娘の「おとうさんだいすき」という励ましの手紙は、何よりのエネルギーでした。

また、私が主催する「英語教員がちサロン」の1200名を超える仲間たちにも、改めて感謝を伝えたいと思います。全国の優秀な先生方から日々刺激を受けながら、執筆を続けることができました。

どうぞこの本を通して、英語教育の新しい可能性を一緒に探っていきましょう。

そして何より、先生方が楽しく、効率的で、しっかり力のつく英語授業を行えるお手伝いができたなら、こんなにうれしいことはありません。

江澤 隆輔

## 第 1 章

簡単なタブレット活用で実現！

## 英語授業の個別最適な学び

- ① 無理なく、でも確実に！  
ICTで叶える個別最適な英語授業 ..... 12
- ② 苦手な先生こそ、まずはこれ！  
1人1デバイス英語のはじめの一步 ..... 14
- ③ Wi-Fiが飛ばない日にもできる！  
ローテク×タブレット授業術 ..... 16
- ④ 4技能すべてに使えるPadlet ..... 18
- ⑤ 生徒の意欲が上がる！Kahoot! ..... 20
- ⑥ Quizletで始める英単語指導・入門 ..... 22
- ⑦ YouTubeを使って楽しくウォームアップ ..... 24

## 第 2 章

生徒が前のめりで取り組む！

## 単語指導編

- ① カラーキングダムで  
学びを“ゲームチェンジ”！ ..... 28
- ② 英単語に何回出合った？  
くり返しに見える化する習得術 ..... 30
- ③ サクサク進む！「単語前倒し」作戦 ..... 32
- ④ Kahoot!で語彙力を育てる発展モード ..... 34
- ⑤ デジタル教科書を利用した英単語指導3選 ..... 36
- ⑥ 高速反復で定着せよ！  
Googleフォームで英単語学習 ..... 38
- ⑦ 単語学習プラットフォームTypeGO ..... 40
- ⑧ デジタル教科書のマスク機能で  
ディクテーション！ ..... 42

## 第 3 章

一人ひとりのつまずきを最小限に！

# 文法指導編

- ① 文法ミスポスターで気づきと笑いを教室に！…… 46
- ② 生きた英語をちょい足し！  
言葉のリアルに出会う仕掛け …………… 48
- ③ 「Which do you like better？」  
投票で比較級を使いたくなる！ …………… 50
- ④ 言葉の型を体に染み込ませろ！  
Quizletでメカニカルトレーニング …………… 52
- ⑤ 文法指導でつまずきをなくすために  
できること …………… 54
- ⑥ 3ヒントで答えを探せ！  
Padletクイズで楽しく文法定着！ …………… 56
- ⑦ AIで文法クイズを自動生成！  
PadletTA活用術 …………… 58

## 第 4 章

生徒のレベルに合わせてしっかり解説！

# 内容理解編

- ① 「何段落目にある？」 Googleフォーム活用術 …… 62
- ② Googleフォームで内容理解チェック …………… 64
- ③ AI生成のワークシートで内容理解チェック …………… 66
- ④ 聞く→わかる→よりわかる！  
どんどん深まる内容理解 …………… 68
- ⑤ 読んで、探して、世界をつなぐ！  
Padletマップで可視化活動 …………… 70
- ⑥ Kahoot!で内容理解をレベルアップ …………… 72
- ⑦ Padletシェルフで  
物語を通して読む力を育てよう！ …………… 74

## 第5章

英語力の土台を作る！

# 音読指導編

- ① デジタル教科書を使った基本の音読練習 ..... 78
- ② “聞いて、重ねて、口を慣らす”  
デジタル教科書×音読の新定義 ..... 80
- ③ 「リレーでつなぐ物語」  
協働×ICTで作る音読プレゼン ..... 82
- ④ 休み時間に音読をする  
夢のような光景をあなたに ..... 84
- ⑤ Reading Progressで  
音読の成果を確認しよう ..... 86
- ⑥ デジタル教科書で  
自分に合った練習時間をつくる ..... 88
- ⑦ デジタル教科書のマスク音読で  
言葉の筋トレ! ..... 90

## 第6章

協働的な学びにも発展！

# アウトプット編

- ① 変わりつつあるスピーチ指導 ..... 94
- ② 授業の終わりにちょっとライティング ..... 96
- ③ Padletの歴史出来事マップで  
地域紹介 ..... 98
- ④ Padletを使った  
スピーキング「発表」の指導法 ..... 100
- ⑤ Canvaでスピーチ革命!?  
英語の授業に“時短家電”を ..... 102
- ⑥ 長期休業中の課題にPadletを使った英語日記 ..... 104
- ⑦ 「このキャラ、売れるぞ…!」  
AI×英語×プレゼンで押し語り ..... 106
- ⑧ “Welcome to My Restaurant!”  
なりきり接客プレゼン ..... 108

## 第7章

個々の学力の定着もばっちり！

# 評価編

- ① 評価の下準備  
—ループリック作成の手順— ..... 112
- ② Googleフォームで作る  
がんばりチェックリストのすすめ ..... 114
- ③ 成長を実感するからがんばれる！  
進捗を見える化する評価の仕掛け ..... 116
- ④ 成績評価を仕組み化するICT×評価の設計 ..... 118
- ⑤ その場で分析、その場で対応！  
進化系リスニング評価 ..... 120
- ⑥ 評価にも“音声のプロ”を！  
音読さんで広がるテスト作り ..... 122

3

対象 全学年

ツール PadletTA / Googleフォーム

## AI生成のワークシートで 内容理解チェック

### 教育現場にイノベーションを起こす！

みなさんは「PadletTA」をどのくらい活用していますか？ 私も自分が運営しているオンラインサロンでメンバーが紹介しているのをきっかけに使い始めました。

Padletは、教育現場での活用が広がるオンライン掲示板ツールのことです。PadletTAは、Padletの新機能で、教師の授業準備や教材作成を支援するAIアシスタントです。現場の「かゆい所に手が届く」機能がたくさんあり、この機能を使っていると、**授業準備のための秘書が一人常駐しているような感覚にさえなります。**

### PadletTAの主な機能

#### ・レッスンプラン

教師が特定のキーワードを入力すると、AIが関連するレッスンプランを自動生成します。短時間で効果的な授業計画を立てることが可能です。

#### ・ワークシート

指定したトピックに基づき、AIが適切なワークシートを自動生成します。教材作成の時間を大幅に短縮できます。

#### ・複数選択

作成したワークシートやクイズは、簡単にGoogleフォーム形式に変換することができ、オンラインでの配付や自動採点を容易にします。PadletTAを利用して、授業内容に即したクイズを迅速に作成できる

のです。たとえば、文法や読解問題の小テストを作成し、生徒の理解度を確認することが可能です。また、Googleフォームに変換することで、自動採点とフィードバックが容易になり、教師の負担を減らせます。

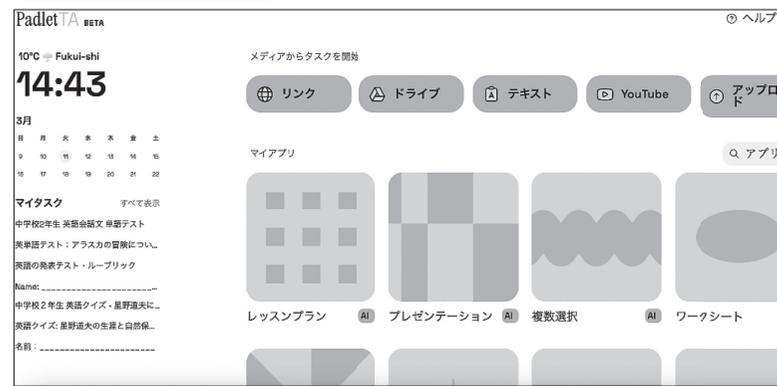
### 複数選択機能で内容理解問題を作成

教科書の内容理解問題を作ります。

- ① PadletTAの「複数選択」をクリックし、学年を入力する。
- ② 「トピック」に単元名と「内容理解問題10問」と入力する。
- ③ 「追加のコンテキスト」に教科書本文を入力し、生成ボタンをクリックすると自動的に本文を分析し、内容理解問題が生成される。

この機能の素晴らしい点は、「エクスポート」ボタンからGoogleフォームに一発変換される点です。変換後、生徒たちがアクセスできるところにURLを貼り付ければ、**授業の最後に内容をしっかり理解できているかチェックできます。**また、**リーディングのパフォーマンステスト**を設定した際にも、このPadletTAに問題を作ってもらってもよいでしょう。

### \* PadletTAのトップ画面



使い方は、無限！ 授業準備に活躍します

6

対象 全学年

ツール Kahoot!

## Kahoot!で 内容理解をレベルアップ

### インタラクティブなクイズプラットフォーム

「Kahoot!」は、学習者の興味を引き出し、楽しく学べるインタラクティブな学習プラットフォームです。授業での復習や単語の確認、文法の定着をゲーム形式で行えるため、とくに英語の授業での活用が注目されています。

Kahoot!の魅力は、教師がクイズを作成し、リアルタイムで生徒がタブレットを使って参加できる点です。各問題に対する回答の正確さやスピードで得点が付与され、ランキング形式で競うため、自然と生徒たちが積極的に参加する雰囲気生まれます。問題の形式も多様で、選択式、並べ替え、アンケートなどを設定可能です。たとえば、英単語の意味選び、並べ替え問題で英文法の確認、前回学習した内容の復習など多彩な目的に応じて柔軟に活用できます。

### 生徒自身が問題作成にチャレンジ！

私は前回学習した内容（主に教科書本文の内容理解）を復習するためにKahoot!を使うことが多いです。その場合には事前にKahoot!のPIN Numberをテレビに表示しておいたり、ショートカットURLの場所を黒板に明示しておくようにしています。そうすることで、Kahoot!が大好きな子どもたちは休み時間から授業の準備をするようになり、チャイムと同時に授業（復習Kahoot!）を始めることができます。

**Kahoot!の操作に慣れてきたら、生徒たちに問題の作成をらせて**

みてはいかがでしょうか。Kahoot!にログイン（無料でアカウントを作ることができます）すると、「Create」「Add question」「Import spreadsheet」から質問作成用のテンプレートをダウンロードできます。その様式に生徒たちが作った問題を貼り付ければ（Googleフォームで質問を送れるようにしておくこと教師の手間も省けます）、生徒の数だけKahoot!の問題ができあがります。

そして、教師のKahoot!アカウントにインポートすることで、すぐに問題を出題することができます。

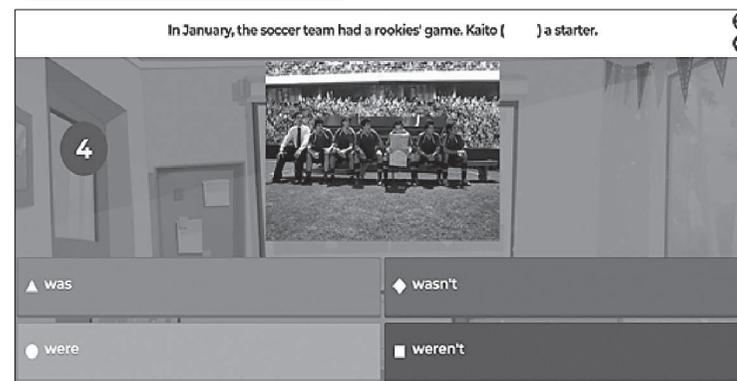
**教科書本文をよく読んで問題を作ることで、生徒たちの内容理解が進みますし、先生方の問題作成の手間も省けて一石二鳥です。**

### AIも使ってさらに時短に！

AIに問題を作ってもらおうという方法もあります。教科書本文をAIに読み込ませて、「Kahoot!の問題を作って」と指示すると、すぐにアウトプットしてくれます。

また、学年の先生方や、英語科全体で手分けして一緒に問題を作るという方法も考えられます。ぜひ、先生方の負担にならない範囲で、Kahoot!の問題作成をしてみてください。

#### \* Kahoot!で作成した問題の画面



生徒に大人気のKahoot! どんどん利用しましょう

## 休み時間に音読をする 夢のような光景をあなたに

### 音読が大切なのはわかっているけど…

英語学習における「音読練習」の重要性は強調しても強調しきれないと思います。思い返せば、私も高校時代には電車での通学時間を「音読タイム」と決め、3年間音読を続けました。結果、大学入試時にはあまり英語に時間を割くことなく、ほかの教科に時間を使って対策できるほどの力をつけられました。この本をご覧の英語の先生方も、少なからず「音読にはまった時期」があるのではないのでしょうか。

しかし、音読の大切さはわかっている、目の前にあるのは分厚い教科書。その中にはたくさんのコンテンツがあり、教える英単語も指導要領改訂のたびに増えています。音読は授業で練習させたいけど、なかなか時間がとれない。そんな先生方に、**休み時間に音読練習を生徒たちが勝手に始める「仕掛け」**を紹介します。

### 自撮りに慣れた世代

私は、週末課題として生徒たちに「**音読動画の提出**」を課しています。一日10分だけ、**今学習しているユニットの好きなページを音読して、動画として記録、提出してもらいます。**

私の自治体では「SKYMENU」というプラットフォームを使っていますが、皆さんの自治体でも生徒たちが作った資料を教員アカウントに提出できるようなプラットフォームがあるのではないのでしょうか。

ただし、条件があり、**授業で学習したページ以外は読まないようにと伝えて**います。授業で扱っていない（本文の意味がわからない）英

文を何度読んでもあまり力はないと考えているからです。これは英文を書き写すような活動をするときも同様です。

この課題を始めたとき、生徒たちは「えー！？自分が音読しているところを動画に撮るなんて…」と恥ずかしそうでしたが、やはり自撮りに慣れた世代。今ではなんの躊躇もなく、自宅や教室でどんどん動画を撮影しています。音読って、実は気持ちがいいんです。英語を自分で発話して、声に出す。これは脳にいい刺激を与えることなのです。

最初は、絶対に反対運動(?)が起こると思いますが、先生たちの「音読体験」を語り、ぜひ続けてみてください。**2か月もすると見違えるような音読を聴くことができます。**また、動画として残るので、生徒たちは「前は、音読がこんなに下手だったんだ、でも今はだいぶすらすら読めるようになったぞ」と振り返ることもできます。私はできるだけ全員の音読を聴くようにし、もう少し練習が必要な箇所を発音練習させるようにしています。

### 「目標時間」の設定とALTとのコラボ

人間、目標があるとがんばれるものです。**私は音読にかける各ページの目標タイムを教科書の本文下部に書くように指示しています。**「このページは○秒で」と指示していると授業が終わってしまうので、語数×0.4として、生徒たちが目標を計算するようにしています。前述の動画提出では、タブレットに動画の秒数が表示されるため、1ページを何秒で読んだか把握することが可能です。

目標時間で読めるようになったら、ALTやJTEの先生のところに聴いてもらいに行き、シールをもらえるようにする活動も楽しいでしょう。私のクラスでは音読シートを作り、生徒たちが読めるようになったら、シートと教科書を持ってきて発表させ、読めたらそこにサインするようにしています。**このような仕掛けをすることで、生徒同士で秒数を競い合ったり、音読動画を楽しんで撮影したりする様子が見られるようになります。**音読を中心とした授業デザイン、ぜひ考えてみてください。